



大津市報道資料  
市政記者各位

令和4年 10月3日

お問い合わせ先

担当者	文化財保護課 埋蔵文化財調査センター		担当：	柳原 麻子 田中 久雄	
連絡先	077-528-2638 077-527-1170		内線	4951	
総合計画	基本方針	基本政策	施策	視点	主な取組
位置付け	2	7	22	2	2

令和3年度発掘調査の成果の公開  
～今宿遺跡出土の白鳳瓦と  
穴太遺跡出土の「宮家」墨書土器～

記

令和4年10月4日（月）から、大津市役所本館1F市民ギャラリーにて埋蔵文化財みにみに展「大津 むかし・むか～し」を開催いたします。展示では、令和3年度に実施した発掘調査の成果を公開します。公開に併せて、発掘調査で得られた以下の2点の成果を報告します。

1点目は今宿遺跡（和邇今宿）の発掘調査で出土した白鳳時代（7世紀後半）の瓦です。旧志賀町域では初の出土事例であり、周辺に古代寺院が存在していた可能性が示される資料です。そのうち出土した3点の単弁六弁軒丸瓦は、大津市園城寺金堂（園城寺前身寺院）より出土した軒丸瓦と同範の瓦であることから、両遺跡間に関係があったことが窺えます。

2点目は穴太遺跡（下阪本二丁目）で出土した「宮家」墨書土器4点です。白鳳時代（7世紀末から8世紀）のものです。「ミヤケ」と読むことが推察されます。古代において「ミヤケ」は朝廷や官吏が司る施設や土地を示します。本調査で出土した墨書土器は調査地の周辺に重要な施設などがあったことを示します。また、7・8世紀の文字資料で「宮家」の表記の類例は少なく、穴太遺跡の周辺がどのような位置付けにあったかを考える重要な資料となります。

- 1 記者発表日時 **令和4年10月4日（火曜日）午後4時30分（文化財保護課 電話528-2638）**
- 2 場 所 大津市役所本館1F 市民ギャラリー
- 3 主催者等 大津市市民部文化財保護課
- 4 事業概要 発表資料は埋蔵文化財みにみに展「大津 むかし・むか～し」に展示されます。  
会場：大津市役所本館1F 市民ギャラリー  
開催期間：令和4年10月4日（火）～10月13日（木）（平日9:00～17:00）  
予約不要、入場料無料
- 5 その他 公表日については解禁時を設けておりません。

※みにみに展に関する問い合わせは埋蔵文化財調査センターまで、出土資料に関する問い合わせは文化財保護課に願います。

